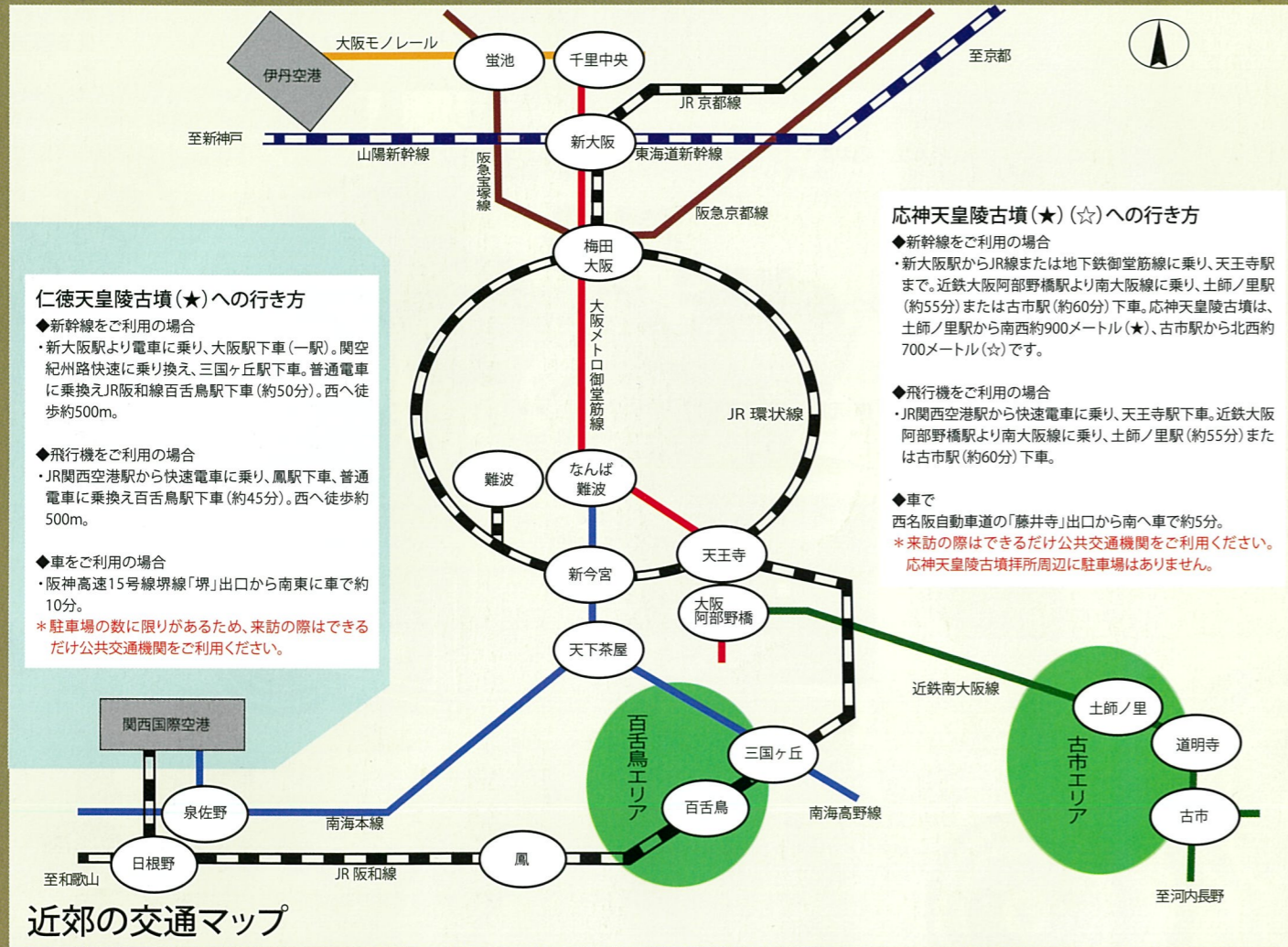


# 世界遺産 百舌鳥・古市古墳群 —古代日本の墳墓群—



**来訪者の皆様へ**

- ・ゴミは各自でお持ち帰りください。
- ・交通ルールを守って周遊しましょう。
- ・住民や他の来訪者への迷惑にならないようマナーを守りましょう。
- ・全ての古墳について外からの見学は可能ですが、立ち入ることのできない古墳もあります。
- ・拝所では動物(盲導犬、介助犬を除く)を連れての参拝はご遠慮ください。
- ・拝所は禁煙です。

編集発行 百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議(大阪府、堺市、羽曳野市、藤井寺市)  
〒559-8555 大阪府住之江区南港北1-14-16 大阪府咲洲庁舎37階  
大阪府 府民文化部 都市魅力創造局 魅力づくり推進課  
電話06-6210-9742 ファックス06-6210-9316  
E-mail: info@mozu-furuichi.jp URL http://www.mozu-furuichi.jp/en/  
発行 令和元年(2019)7月26日

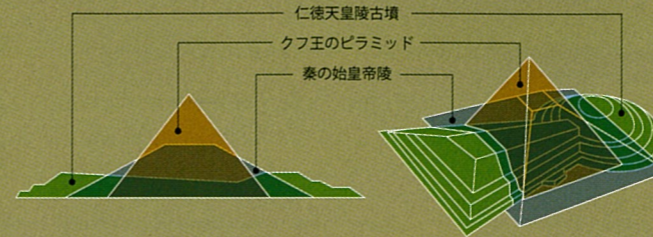


も ず ふる いち  
**百舌鳥・古市古墳群とは**

世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」は、古墳時代の最盛期(4世紀後半から5世紀後半)にかけて築造された、古代日本列島の王たちの墓群です。古代日本の政治文化の中心地のひとつであり、大陸に向かう航路の出発点であった大阪平野に位置しています。

本資産には、世界でも独特な鍵穴形で、最大のは長さがおおよそ500mに及ぶ巨大な古墳を多く含み、これらと様々な大きさと形状の中小墳墓が密集して群を形成しています。

世界各地の多くの墳墓の墳丘が棺や室に盛土・積石しただけのものであるのに対して、古墳の墳丘は葬送儀礼の舞台として幾何学的なデザインを施し、埴輪などの土製品で飾り立てた建築的な傑作でした。



|    | 仁徳天皇陵古墳 | クフ王のピラミッド | 秦の始皇帝陵 |
|----|---------|-----------|--------|
| 全長 | 約486m   | 約230m     | 約350m  |
| 高さ | 約35.8m  | 約146m     | 約76m   |
| 体積 | 約140万㎡  | 約260万㎡    | 約300万㎡ |

**古墳とは**

3世紀後半から6世紀後半の間、日本列島で盛んに造られた土を高く盛り上げた墳丘をもつ墓を「古墳」と言います。古墳には当時の身分の高い人が葬られていました。

墳丘は、周りの土を掘って積み上げて造られ、その斜面に石が敷き詰められました。掘られた部分は周りより低い濠になりました。

古墳の形は、上からみると鍵穴の形をした前方後円墳、帆立貝のような帆立貝形墳、ドーム型の円墳や四角形の方墳などバラエティーに富み、大きさも10m程の小さいものから、400mを超える巨大なものまで様々です。

古墳が盛んに造られたこの時代は「古墳時代」と呼ばれ、ここから日本列島で古代王権が形成されていきました。



百舌鳥エリア



No.21 ニサンザイ古墳



No.33-1 応神天皇陵古墳



No.26 仲姫命陵古墳



古市エリア

**百舌鳥エリア  
 一堺市一**

百舌鳥エリアは、堺市内の東西・南北約4kmの範囲に広がっています。世界遺産の構成資産として、23基21件の古墳が選ばれており、その中には、世界最大級の墳墓・仁徳天皇陵古墳(国内第1位)や履中天皇陵古墳(同3位)をはじめとする巨大前方後円墳などが含まれています。

**古市エリア  
 一羽曳野市・藤井寺市一**

古市エリアは大阪府の東南部、藤井寺市から羽曳野市にかけて、東西・南北各4kmの範囲に広がっています。墳丘長400mを超える巨大な前方後円墳の応神天皇陵古墳(国内第2位)をはじめとする26基24件の古墳が世界遺産の構成資産として選ばれています。

# 百舌鳥・古市古墳群の顕著な普遍的価値

## 評価基準 (iii)

古墳は列島各地に16万基も存在していますが、その中でも日本古代の古墳時代の文化を代表し、また類まれな物証を提供しているのが百舌鳥・古市古墳群です。45件の構成資産は、この時代の社会政治的構造、社会的階層差および高度に洗練された葬送体系を証明しています。

## 評価基準 (iv)

百舌鳥・古市古墳群は、古代の東アジアにおける墳墓築造のひとつの典型です。古墳およびその有形の属性である埴輪や濠、葺石を施した幾何学的な段築をもつ墳丘は、この歴史的に重要な時代における社会階層の形成の上で、顕著な役割を果たしました。

## 個性豊かな古墳に備わる3つの属性

### 属性 a)

#### 密集した多様な古墳

百舌鳥・古市古墳群の2つのエリアに密集する古墳は、多様な墳形と400m以上から20m程度までにわたる規模のバリエーションを有しています。これらは、同地域、同時代に多様な墳墓が営まれた日本列島の古墳の特徴を最も明瞭に示すものです。

### 百舌鳥エリア

- 前方後円墳
- 帆立貝形墳
- 円墳
- 方墳

※ 灰色の古墳は構成資産ではありません。

- 1 反正天皇陵古墳
- 2 仁徳天皇陵古墳 (2-1)  
茶山古墳 (2-2)  
大安寺山古墳 (2-3)
- 3 永山古墳
- 4 源右衛門山古墳
- 5 塚廻古墳
- 6 取塚古墳
- 7 孫太夫山古墳
- 8 竜佐山古墳
- 9 銅龜山古墳
- 10 菰山古墳
- 11 丸保山古墳
- 12 長塚古墳
- 13 旗塚古墳
- 14 銭塚古墳
- 15 履中天皇陵古墳
- 16 寺山南山古墳
- 17 七観音古墳
- 18 いたすけ古墳
- 19 善右エ門山古墳
- 20 御廟山古墳
- 21 ニサンザイ古墳

### 古市エリア

- 22 津堂城山古墳
- 23 仲哀天皇陵古墳
- 24 鉢塚古墳
- 25 允恭天皇陵古墳
- 26 仲姫命陵古墳
- 27 鶴塚古墳
- 28 助太山古墳
- 29 中山塚古墳
- 30 八島塚古墳
- 31 古室山古墳
- 32 大鳥塚古墳
- 33 応神天皇陵古墳 (33-1)  
菅田丸山古墳 (33-2)  
二ツ塚古墳 (33-3)
- 34 東馬塚古墳
- 35 粟塚古墳
- 36 東山古墳
- 37 はさみ山古墳
- 38 墓山古墳
- 39 野中古墳
- 40 向墓山古墳
- 41 西馬塚古墳
- 42 浄元寺山古墳
- 43 青山古墳
- 44 峯ヶ塚古墳
- 45 白鳥陵古墳

### 属性 b)

#### 4つの標準化された型式

百舌鳥・古市古墳群の古墳には、前方後円墳、帆立貝形墳、円墳、方墳という4種類があります。これらの型式は、全国各地の古墳の規範となった標準化されたものであり、本資産は古墳の設計や築造技術を牽引する存在でした。



## 百舌鳥・古市古墳群の立地

—東アジアとの交流の玄関口—

古墳時代と同時代の東アジアは、中国王朝分裂の時代情勢を背景に、朝鮮半島では高句麗、百済、新羅、伽耶、日本列島では倭が成長し、諸王権が抗争や連合を繰り返す動乱の時代でした。

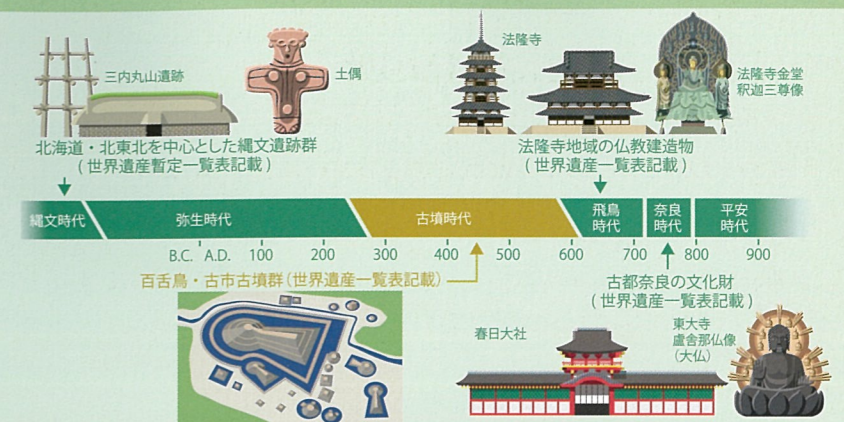
百舌鳥・古市古墳群の所在する大阪平野は、朝鮮半島や中国大陸の諸勢力との交流の窓口であり、古代日本の政治・文化の中心地の一つでした。



## 古墳築造の時代

—古代王権の形成と発展—

古墳時代は、狩猟採集を生業とした縄文時代および日本列島に稲作農耕が伝えられた弥生時代に後続し、列島各地で成長した諸勢力が政治連合を形成した時代でした。それは、大陸から統治システムや新たな宗教(仏教)が本格移入される直前であり、墳墓によって権力を象徴した独特な歴史的段階でした。



## 属性 c)

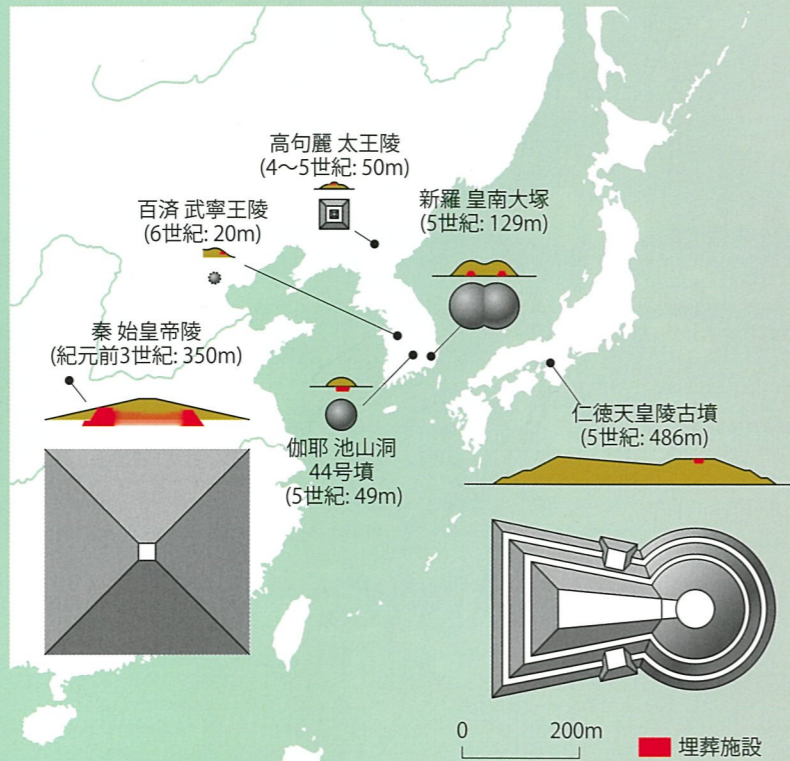
### 入念で独特な葬送儀礼の証左

各古墳の埋葬施設は墳頂から掘り込まれた墓穴の中にしつらえられ、墳丘上面の各所に埴輪や葺石が施されています。墳丘上で葬送儀礼がとり行われ、その舞台として墳丘が飾られたことは日本列島における古墳の大きな特徴であり、百舌鳥・古市古墳群は、それを明瞭に伝える事例です。



人工製構造物としての古墳  
航空測量に基づく立体地図

仲姫命陵古墳  
(No. 26)



東アジアにおける墳墓の主要な形  
東アジアでは円墳や方墳が一般的であるのに対し、日本列島の前方後円墳は特徴的な鍵穴形をしています。

長塚古墳 (No. 12)

旗塚古墳  
(No. 13)

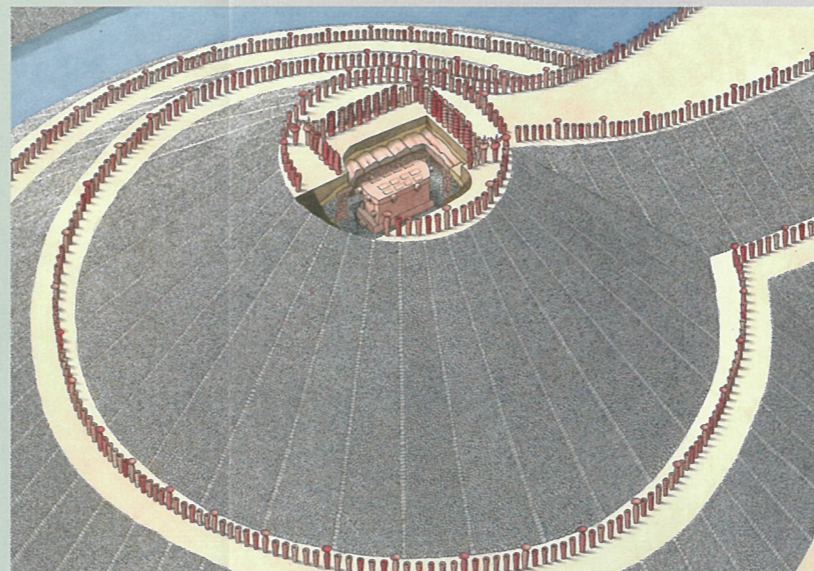
源右衛門山古墳  
(No. 4)

助太山古墳  
(No. 28)

帆立貝形墳

円墳

方墳



築造時の装飾された墳丘と埋葬施設

埋葬施設(石室及び棺)は墳丘が完成した後、その頂上から掘り込まれた墓穴の中にあり、墳丘表面は円筒埴輪や葺石によって飾り立てられていました。



出土した巨大な石棺  
(No. 22 津堂城山古墳)



大量に出土した甲冑  
(No. 39 野中古墳 写真:大阪大学考古学研究室)



鉄製甲冑  
(No. 39 野中古墳 写真:大阪大学考古学研究室)



東アジアの交流を物語る金属製品  
(No. 44 峯ヶ塚古墳)



巨大な衝立形埴輪  
(No. 22 津堂城山古墳)



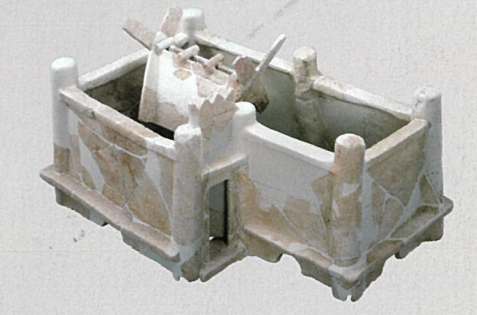
冑形埴輪  
(No. 18 いたすけ古墳)



墳丘を飾る円筒埴輪  
(No. 20 御廟山古墳)



古代人の死生観をうかがわせる水鳥形埴輪  
(No. 22 津堂城山古墳)



神社建築の源流であると見られる家形埴輪  
(No. 20 御廟山古墳 写真:宮内庁)